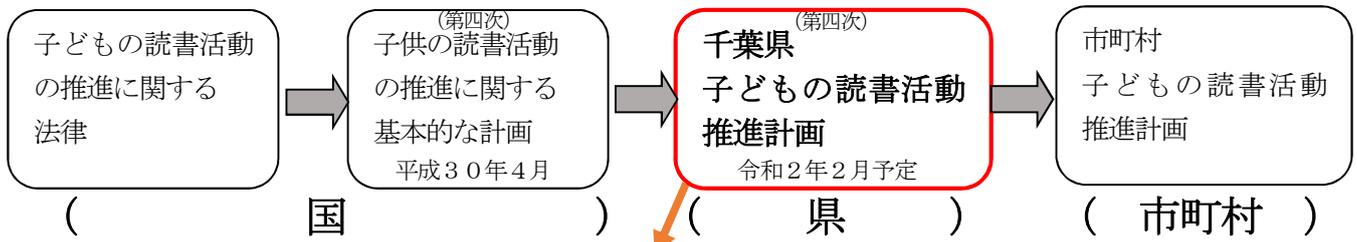


千葉県子どもの読書推進計画(第四次)について

1 計画策定にあたって



計画の性格 子どもの読書活動を全県的に推進するための手引き
 計画期間：令和2年からおおむね5か年

2 第三次推進計画期間における子どもの読書活動に関する状況 ※平成26年～31年

主な成果	主な課題
ブックスタート事業実施市町村100% 市町村立図書館等ボランティア 2076人→2817人 学校図書館の充実「学校図書館自己評価表」活用	・読書好きな子どもの減少（中学生・高校生） ・市町村推進計画策定（市89.1%、町村29.4%） ・市町村ごとの格差（図書館の有無・司書・予算）

子どもの読書環境を取り巻く情勢の変化

- ・学校図書館法の改正等・学習指導要領の改訂
- ・情報通信手段の普及
- ・図書館における障害者利用の促進

- 読書への関心を高める取組
- 市町村の推進計画策定率を上げる
→役に立つ具体例の紹介が必要

3 基本的な方針

基本理念

すべての子どもが、本に親しみながら成長していくための「読書県『ちば』」の推進
 ～子どもと本をつなぐ・子どもの本でつながる読書活動の推進～

1 社会全体における
読書へ関心を高める取組

基本方針

2 読書環境の整備と
連携体制の構築

4 具体的な取組

発達段階別アプローチ ※具体例提示

※乳幼児期・小学生期・中学生期・高校生期

(1)家庭

- ・家読(うちどく)の推進
- ・ブックスタート・セカンドブック事業への参加

(2)地域

- ・公立図書館、公民館、ボランティア等
- ・子どもの読書活動推進センターの紹介
(県立中央図書館)

(3)学校等

- ・全校をあげての読書機会
- ・子ども同士で本を紹介する活動

(4)情勢の変化への対応

- ・子どもと本をつなぐ新しいきっかけ
(タブレット端末、インターネット活用・電子図書館の利用)

家庭・地域・学校等別の

読書環境整備、連携体制の構築 ※具体例提示

(1)環境整備

- ・家庭…読書の大切さの理解、時間確保
- ・地域…図書館の整備、情報化、読書バリアフリー
- ・学校…魅力ある学校図書館、人的体制整備

(2)家庭・地域・学校等の連携

- ・家庭と学校の連携…読書の意義、ボランティア
- ・地域と学校の連携…課題解決学習、企業連携
- ・学校と学校の連携…異学年交流
- ・家庭と地域の連携…家庭文庫・地域文庫

(3)普及啓発活動

- ・ビブリオバトル大会、地域の課題に応じた研修会

(4)子どもの読書活動推進体制の整備

- ・家庭、地域、学校等、行政（県・市町村）

5 第四次計画の特色

「発達段階別アプローチ」と「環境整備・連携」

- | | |
|------------------------|--|
| <p>第四次計画
新たな取組</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○セカンドブック事業の推進
3歳から小学校入学前の子どもを対象とした読書への関心を高める取組 ○情勢の変化への対応
タブレット端末・インターネット活用、電子図書館を利用した読書 ○すべての子どもが読書に親しむための環境整備
読みやすさやバリアフリーに配慮した環境整備（読書バリアフリー） ○県主催事業の充実
ビブリオバトル大会、地域の課題に応じた研修会の実施 |
|------------------------|--|

すべての子どもが、本に親しみながら成長していくための「読書県「ちば」」の推進
～子どもと本をつなぐ・子どもと本でつながる読書活動の推進～

